

### \* デイバイダー (ディコール) 収蔵

アーカイブ室新聞第208号で曲線自在定規収蔵を紹介した。これはパソコン発達前の文房具であった。今回は同時期の文房具のひとつ「デイバイダー」を収蔵したので紹介する。デイバイダーは一定の長さ、幅などを任意に分割、比例拡大、縮小が簡単に出来る文房具(製図器の一種)(写真1)である。写真1は斜めに撮影してあるから針の先が比例等分で無いように写っているが、等間隔でなければならない。



写真1 デイバイダー

デイバイダーは、地図、測量、製図、デザイン、印刷、建築設計、天文、航空、船舶、地理など広い範囲の分野で利用されている。紙面上にプロットする場合にはスタンプ台に刃先をつけ、インクを載せて使う。筆者はこの道具は見たことはあるが使ったことはない。この製図器然とした立派な箱に入ったこの文房具が使われた形跡もない。利用法は写真2の用に説明図が付いている。写真1の型式はTRS-1型である。定価は18,000円とある。安いものではない。写真3は、寸法が表されている。

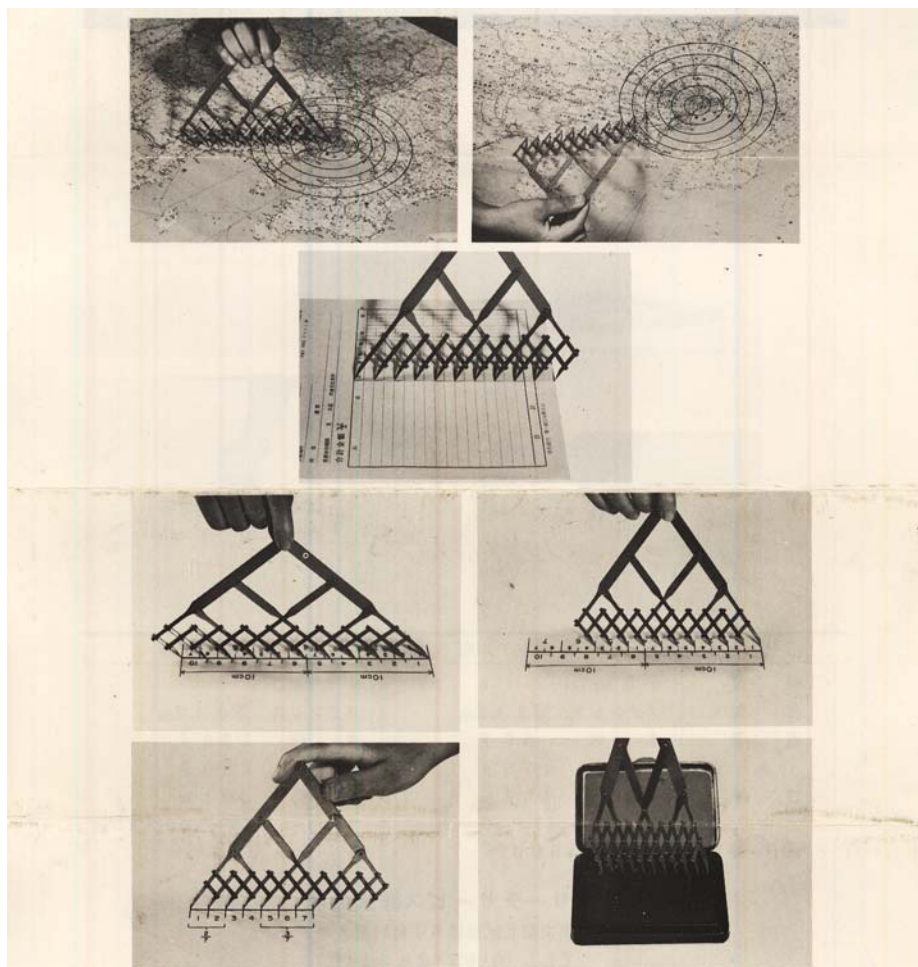


写真2 いろいろな使用法

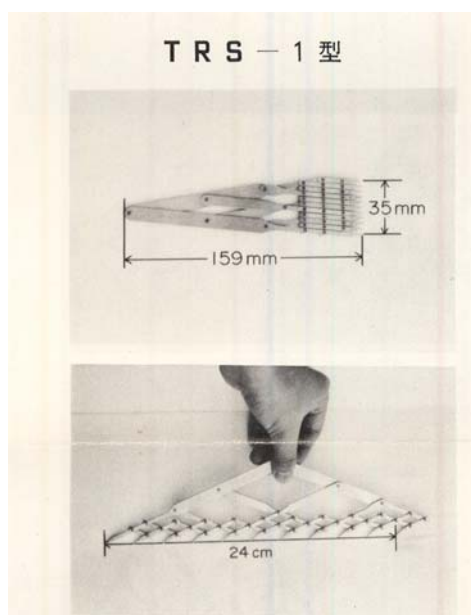


写真3 デイバイダーの寸法